

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 えほんの木 守山		
○保護者評価実施期間	2025/1/28 ~ 2025/2/14		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025/1/28 ~ 2025/2/9		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/27		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供、専門的支援を作業療法士で実施していること	・質を高められるよう専門職での研修を実施している ・個別療育や小集団療育の内容が共有できるよう記録や発言を行っている	・スタッフ間で実施内容を各自の学びにつなげられるよう、個別療育会議の場をより有効に利用していく
2	・活動内容のバリエーションが豊かであること	・子の様子に合わせて、多職種の職員が専門的な視点で支援を行っている	・チームでの連携を継続し、支援を行う
3	・専門的な視点での保護者支援を行っていること	・質を高められるよう各職種での研修を実施している ・必要に応じて経験年数の高いスタッフが対応できるようにしている	・経験年数の高いスタッフの見立てがさらに浸透していくようケース会議での解説を増やしていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供不足	・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・取り組み不足	・安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情報収集を行う
2	・情報発信が弱い	・個別に必要な情報をお伝えさせていただいていますが、様々な方法で情報を発信していきたい	・ご利用者様がより安心出来るように、情報発信を強化していく
3	・親子分離での療育のため、支援中の様子を見ていただく機会が少ない・面談等も別室で行うことが多い	・親子分離での療育のため、見ていただく機会が少ない ・面談等も別室で行うことが多い	・施設内を見ていただく機会が作れるように検討していく